

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	2 章 安全・安心で快適な住みよいまち（都市基盤の整備）			
	施策（大柱）	3 節 道路	H20 実施計画事業費合計	2,624,176 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	1 道路計画の推進	7,980 千円		
		2 幹線道路の建設	912,495 千円		
		3 生活道路の整備	718,122 千円		
		4 歩行者・自転車環境の整備	35,500 千円		
5 道路環境の整備		950,079 千円			
施策に関係する所属	政策企画課、都市計画課、建設総務課、計画道路整備課、道路建設課、道路維持課、交通安全課				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的
	○交通渋滞の解消につとめるとともに、将来の交通需要に対応できるよう計画的に道路整備を進める。 ○地域の特性に配慮し、道路の改良や拡幅、緑化、照明灯の設置、電線類の地中化など、道路環境の整備を進める。 ○歩道の整備や災害に強い道路、橋りょう整備など道路施設の管理を充実する。 ○高齢者や障害者などをはじめ、利用者によさしい道路の整備を進める。
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法
	○道路計画の推進 将来の交通需要に対応するため、計画的に幹線道路網の整備に取り組む。 ○幹線道路の建設 県南西部地域の発展にとって重要な主要幹線道路の建設を促進するとともに、環状線としての主要幹線道路の建設を進める。 ○生活道路の整備 狭い道路の拡幅や交差点の改良など進める。 ○歩行者・自転車環境の整備 誰もが使いやすい歩道・自転車道等の整備を進める。 ○道路環境の整備 道路の緑化や、防災・防犯機能の向上、路面の雨水排水機能の向上などを図るとともに、橋りょうの強度等安全性の確保に努める。
3) 分野別計画、指針	

③ 優先的に取り組む事業	4) 関連・類似施策				
	○2-4交通				
	5) 施策に対する市民ニーズ				
	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。				
6) 施策に係る基礎数値					
	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	都市計画道路整備延長	km	58.47	58.47	59.57
	道路照明灯設置数	灯	8,980	9,155	9,303
	交差点右折レーン設置数（単年度）	ヶ所	1	0	1
	電線類の地中化延長	km	4.5	4.5	4.5
	橋りょう数	橋	188	188	187

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
070301 所沢村山線道路築造事業	旅行時間	吾妻公民館→所沢駅（往復平均） R市道5-1号線→県道東京所沢線→県道久米所沢線経由	分		9		
070302 北野下富線道路築造事業	市道3-5号線及び主要地方道川越所沢線の交通量	市道3-5号線（ラーク所沢前）、及び主要地方道川越所沢線（美原町3-2994-2）に観測点を設定	台		3296		
070303 松葉道北岩岡線道路築造事業	市道3-5号線及び主要地方道川越所沢線の交通量	市道3-5号線（ラーク所沢前）、及び主要地方道川越所沢線（美原町3-2994-2）に観測点を設定	台		3296		
070304 所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	踏切遮断による交通渋滞を立体交差により解消する	遮断時間から渋滞状況を観測	分				
070201 道路改良事業	改良整備率	目標：改良要望路線数 実績：改良路線数	路線	71	12	16.9	

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
④ 5年後の目標／成果指標	【5年後の目標】幹線道路を利用した車での平均移動時間	道路を利用した移動時間の短縮度合いにより道路改良の成果を測る指標	年度	16	19.7	19.5	19.3	19.2	19.0	年度 22
			実績値	24.0	19.0		実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		2	目標値
			達成率	82.0%	102.6%					19.0
			%	20.0						
幹線道路供用開始率	都市計画道路39路線、総延長に係る供用開始を図る指標	km	年度	17	58.98	59.49	60.00	60.51	61.04	年度 22
			実績値	58.47	59.57		実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値
			達成率	99.1%	100.1%					61.04
			%	58.47						
			年度						年度	
			実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値
			達成率							
			%							
			年度						年度	
			実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値
			達成率							
			%							

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み
① 道路改良事業の一部の路線に国の補助金を利用して道路改良事業（交差点改良事業1箇所）の促進に努めた。 ② 今後も優先度の高い交差点改良を実施し交通安全・交通渋滞の解消に努めていく。 ③ 所沢村山線の早期完成に向け買収済み箇所の工事を実施し早期完成を目指した。

1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
今後、歩道整備事業・交差点改良事業・新設道路事業など新規事業が多くあり、これらの事業は市民要望も高いため事業費の確保が必要です。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
所沢村山線道路築造事業においては、用地買収率が全体の84%であり買収済み箇所は工事も完成しており、今後も用地協力が得られた箇所を順次工事を実施して早期完成を目指します。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

⑦ 評価（課題及び目標方向性）	2) 平成20年度における目標設定		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	都市計画道路(所沢村山線)建設促進	「所沢村山線」については、残りの用地取得に努める。	3月末までに。
	道路改良事業の推進	道路改良工事の発注率を75%以上に努める。	9月末までに。
3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）	道路は、市民生活や地域経済の活性化のために重要な社会資本であり、計画的に整備する必要があります。特に近年各地で発生している地震による被害は甚大であり、道路・橋が被害にあうことは災害復旧に大きな影響を受けることとなりますので緊急輸送路に指定されている道路の整備また、橋の耐震化工事が急務となってきております。身近な道路におきましては誰でもが利用しやすい歩道整備が求められていると併に自転車と歩行者の分離等様々な整備を求められております。今後は当施策の重要課題である渋滞緩和対策としては、環状線である「北野下富線」の開通を最優先として取り組み、幹線道路のネットワーク化を図ることによって中心市街地への車の流入を防ぐことが必要である。また、交差点改良・電線類の地中化事業・道路照明灯の維持管理・橋の耐震化については費用対効果を勘案し効果的かつ効果的に進めていくと併にコスト削減を図っていく。		
評価日	平成20年8月11日	記入者職氏名	道路公園部次長 沖本 稔